

「バンジーなパパ」

息子が喋るようになって数ヶ月。公園を散歩していると、植え込みには沢山の黄色いバンジーが。ふと立ち止まり、息子がバンジーを指差し一言「パパ」。よく見ると、確かにバンジーの花は、夫のヒゲの生えた顔にそっくり！ 帰宅後、単身赴任中の夫に、電話で報告。「バンジーか〜」と笑いながらも、涙声を隠せなかった夫。パパ、大丈夫、息子は離れていても、ちゃんとパパを思っているよ。

(20代女性)

「今日ぐらいいいかな?」

高校時代から花屋でバイトしていた妻と結婚してもう12年になる。結婚してしばらくは、度々妻が好きなマーガレットを買って帰った。いつからか妻に花を買う事が絶えていた。そんなある日、照れくさそうに花束を抱えて花屋から出てくるスーツ姿の男性を見かけた。僕もあんな横顔で、妻の喜ぶ顔を想像して帰り道を急いでいたのかなって思った。こそばゆいけど、涙が出そうになるくらい暖かい時間がそこにあったことを思い出す。「今日ぐらいいいかな。」訳の分からない言い訳しながら、妻の好きなマーガレットの花束を包んでもらっていた。

(30代男性)

「その瞬間」

オオイヌフグリ。私が好きな花。道端に雑草とともに咲いている青い小さな花。春になると姿を現すその花は、小さいながらに一生懸命辺り一面を明るくする。彼が私の実家を訪ねて、近所を一緒に歩いていた時、「これ、私の好きな花」と何気なく言った。彼は足を止めて、大きく後ろを振り返って、「どれどれ?」と、花に顔を近づけていった。「ふーん」とか「そうなんだ」と言って、歩き続けることはしなかった。その姿を見て、「ああ、この人って、この人って、。」この人といったら幸せになる。そう確信した。

(30代女性)

「花とともに」

「これからもよろしく」深紅のバラの花束が届きました。結婚以来、毎年一本ずつ増えるバラの花…今年で29本目…美しく飾られた花を見ながらこれまでの日々を思い出し夫のやさしさ感謝します。「ありがとう…私こそよろしくね」…花は見た目の美しさもですが、心に豊かさを与えてくれ、私達夫婦にとっては愛の潤滑油です。これからも花に囲まれ心豊かな暮らしに役立てたいものです。来年は30本…! 楽しみ! 楽しみ!

(50代女性)

メール、時々、花束。

